

平成24年度事業報告

1. 概況

シルバー人材センターは、高齢者が生きがいをもって就業をすることにより、高齢者自らの健康づくり、地域の活性化や、高齢者同士の助け合い等に寄与するものであり、その役割はますます重要なものとなっております。

しかしながら、国においては、補助金をここ数年で大幅な削減を実施して、シルバー事業の内容が法令に適合しているかどうかについて、適正就業の厳しい指導があり、センターの運営は非常に厳しいものとなってきました。

このような状況のもと、萩広域全体としては依然景気の低迷は続き、契約金額も予算額には達したものの、前年比においては金額にして1千224万円減額の3億8百63万円に留まりました。大きな要因としては継続業務が他に移った為に単発業務では補うことができませんでした。また、民間企業がシルバーと同様の事業を行ったり、就業のミスマッチにより受注できなかったこともあげられます。

受注先別にみると公共からの受注が前年度並みの実績、民間企業からの受注が5.3%（875万円）減額、一般家庭からの受注が6.5%（350万円）減額、独自事業は10.6%（1万円）増の実績となりました。

職群別割合では、一般作業群が最も多く全体の40%を占めており、次に管理群が31.7%、技術群が10.9%、技能群が10.7%、サービス群が4%、折衝外交群が2.5%、事務整理群が0.2%となりました。

会員の状況は、年金支給額が満額になる年齢を超えてからの入会者の希望がみられるようになり、また、シルバーでの就業形態の相違により年度末の会員数は604人とどまり、就業実人員は587人、就業率は97.2%となりました。

昨年、山口県公益法人認定審査会において公益事業として認定され、特例民法法人という立場から公益社団法人へと移行し、本年は公益法人として役職員一丸となって様々な普及啓発活動や就業開拓に努力し、地域社会に信頼され貢献できるシルバー人材センターを目指して努力いたしました。

これまで以上に、萩市・阿武町をはじめとする関係行政機関や地域社会各位のご理解とご指導・ご援助を心よりお願いいたします。